

平成22年度第2回中原区区民会議運営部会会議録

○日 時 平成22年12月27日（月） 午前10時～午前11時50分

○場 所 中原区役所5階501会議室

○出席者 鈴木部会長、杉野副部会長、板倉委員、川連委員、松本委員

（事務局）山崎副区長、企画課：綱島課長、織裳担当係長、小木曾主任、橋本職員、園田職員、宮田担当係長

○傍 聴 なし

○報 道 なし

○次 第

1 開会

2 会議録確認委員の選任

⇒川連委員を選任

3 議題

（1）第3回中原区区民会議の運営について

ア. 課題調査部会の審議内容について

○ 川連委員から資料1、2に基づき課題調査部会での審議経過について説明。

⇒ 説明内容について了承、区民会議でも課題調査部会長である川連委員から報告することとなった。

（2）第4回中原区区民会議の運営について

ア. 第4回中原区区民会議の検討テーマについて

○ 事務局から資料3に基づき当日の次第案を説明。

⇒ 次第案について了承

○ 第4回区民会議で議論するテーマについて、事務局から資料5、6に基づき、これまでに委員から出された検討テーマの案や8月の運営部会での委員意見について説明。

また、参考資料4により・房委員からの提案も紹介。

（主な意見）

- ・ 中原区では地域の方が中心となり子育てサロンが活発に運営されている。また、こども支援室を中心に2つのネットワーク会議もある。ただ、関係者しか知らないため、区民向けにもっと広報していく必要がある。子どもの成長に合わせて支援の仕方が変わってくるので、乳幼児の支援だけではなく、小中高と年齢に合わせた支援を行っていくことが必要である。・房委員からの提案については、ふれあいの場としては公園は良い場所だと思うが、もし事故があった時のことを考えると子どもの世話をする専門の人材やコーディネイトしてくれる人も必要となると思う。サロンのように親が同席していると責任問題の件については違うことも考えられると思う。（松本委員）
- ・ 何かをやる時に一番問題となってくるのが責任問題である。今回の提案の中で、老人会や乳幼児は、どちらも応援していかなければいけない立場の方をマッチングしよう

としていることが課題である。発想は素晴らしく、老人会の方も公園で子どもの世話を
する機会を得られれば、いきがいに繋がってくると思う。お試し体験的に実施で
きるところまで検討を重ねて、モデル実施を行い、検証を行ったうえで広めていく
べきではないか。

子育て支援の対象については、小さい子ども向けの支援が多いが、小学校の高学年を
超えてくると、より専門的な支援体制が必要になってくると思う。(鈴木部会長)

- ・子育てサロンを7年前に始めた時は手探り状態であったが、段階を踏んで少しずつ進
歩していると思う。私もかかわってきたが、地域全体で子育てを進めるという立場で
民生委員協議会ではなく社会福祉協議会で支援を行ってきた。中原区の子育てサロンの
取り組みは全国的にも非常に高いレベルのものであると思う。松本委員も児童委員
として関東ブロックなどで取り組みを発表している。また、こども支援室に教育委員
会と兼務の職員体制があることは良いことである。上丸子小学校のコミュニティスク
ールも良い取り組みである。子育て支援体制を強化していくには、自主ボランティア
を育成していく必要がある。等々力老人いきいの家で、世代間交流の機会を持つこと
があったが3歳以上の子どもは動きが早く対応が困難であった。高齢者の方が子育て
に携わる機会を考えると、第1段階は既存の子育てサロンにボランティアとして参加
していただくのが良いと思う。(杉野副部会長)
- ・中原区が、子育てに関して先駆的に取り組み、上手くいっているのならば区民会議と
して取り組む必要がないのではないかと。(鈴木部会長)
- ・3歳までは支援体制が整っているが、その後の支援体制が整っていない。自主ボラン
ティアの育成が必要である。親御さんも含め3歳でサロンを巣立ってってしまうの
が現状である。町会の参画などの地域の協力を得て裾野を広げていく必要がある。携
わるものとしてサロンを見ても、なかなか地域に根付いていないのではないかと思う。
(杉野副部会長)
- ・房委員の提案は、子育てサロンに行けない人のために身近な公園で子育て支援をす
るという観点が良いアイデアだと思う。区民会議の課題として、「子育てボランティア
を増やしていきましょう」というテーマで議論するのでは偏りすぎていて狭くなって
しまうと思う。例えば、「サロンが足りないので増やすべきだ」という意見では陳情的
であり、区民会議が議論すべきことは「区民会議が議論することで自分達で何がで
きるか」といった観点で審議をしていくべきである。(鈴木部会長)
- ・現代社会では、どこに相談したらよいか分からないで困っている人が多くいるのでは
ないか。そこを充実させていくべきである。(川連委員)
- ・区民会議のテーマを設定する中で、コミュニティとして人間関係が希薄になっている
という課題がある中で、課題が漠然としているので「防災」とか「子育て」などの個
別のテーマを設定して、審議を進めやすくしているものだと考えている。
サロンに行ける人は問題がないが、行けない人をどうしたらよいかなどを、区民会議
で考えるべきだと思う。(鈴木部会長)
- ・私も子育ての際に子どもの夜鳴きに苦しんだ。困った人が相談できる体制づくりをす

るべきである。(川連委員)

- ・私は周りの方々に支えられて子育てを行うことができた。自分がしてもらったことを多くの方にしてあげたいと考えて水辺の楽校を行っている。そういった場を多く提供していきたいと考えている。(鈴木部会長)
- ・実際に子育てボランティアの養成は行っているのか。(板倉委員)
- ・子育て支援者養成事業を新たに立ち上げて取り組んでいる。(副区長)
- ・子育て支援は、町会などの地域で行われることが望ましいと考えている。しかし、町会では高齢化も進み対応が難しい面もある。(杉野副部会長)
- ・中原区は盛んな方であるが、子ども会の加入が減ってきている。子ども会が地域での子育ての役割をこれまでは担ってきた。(松本委員)
- ・今の若い方では、町会というと「赤十字」や「募金」といったイメージを強く持つ方が多いのではないかと。(板倉委員)
- ・昔は近所に相談できる付き合いがあったが、今は自分の周りに誰が住んでいるのかも分からない状況で、それが様々な問題を引き起こしていると思う。(川連委員)
- ・今、出されている課題は、「地域での担い手不足」なのか。しかし、再開発地区では、実際に「パパママパーク」などの取り組みが行われている。逆に、再開発地区で新たに取り組んでいる方の意見を聞くことも必要かもしれない。(鈴木部会長)
- ・毎月第4土曜日にパパママパークが再開発エリアで開催されている。先日はお父さんが11人参加した。これは過去最高的人数であり、参加者が増え、勢いを感じている。マンションでは、「防災」「防犯」など様々な企画が住民中心にされており、住民の方も定着してきたように感じる。構成員も30代、40代が中心である。(松本委員)
- ・水辺の楽校に参加される方々も、非常に熱心である。私たちが新住民の方を考えるよりも、逆に教えてもらう、学ぶことがあるかもしれない。以前の区民会議では事例を聞くというスタイルもあった。区民会議での審議にあたって事例を聞くというスタイルがあっても良いと思う。(鈴木部会長)
- ・子育て世代の親御さんらと花見をする機会があった。皆、非常に熱心であり、元氣をもらえた。子育て世代の方と交流を持つことができれば、高齢者と子どもを含めた橋わたしが出来るようになるのではないかと。私は、若い世代と交流をもっと持っていきたい。(杉野副部会長)
- ・応援することだけを考えるのではなく、主体的に子育て出来る環境をつくらないといけない。(鈴木部会長)
- ・なかなか、難しいテーマで決めきれない。1月19日に全体の意見を聞いてから絞り込むということも考えられる。子育てがテーマならば、子育てサロンは継続し、その上で何が必要で、何ができるかを考えながら、区民会議としてどこにスポットをあてて議論すればよいか考える必要がある。(鈴木部会長)
- ・こども文化センターやわくわくプラザなど、小学校に入った子ども達の支援策も充実してきている。(松本委員)
- ・子どもといっても乳幼児から高校生まで幅が広すぎる。今回は乳幼児に絞って議論を

すればよいのではないか。公園と子育てサロンのどちらへも行けない人がある。これらの人をどのように支援できるか考える必要がある。(鈴木部会長)

- ・ 8月の運営部会でも子育て以外に、環境、大企業、観光スポットなどの意見があったがテーマとして他に相応しいものがあれば出してもらいたい。(鈴木部会長)
- ・ 私は町会の中で子育てサロンをやってもらえると一番良いと思っている。そうすることによって、年配の方と若い方の接点もでき、地域コミュニティづくりにつながってくるのではないか。(杉野副部会長)
- ・ もし、・房委員から提案のあった公園で高齢者と子どもをつなげていくには、そこで両方を繋げる人材を募集することを区民会議で提案して実施していかないと難しいと思う。(松本委員)
- ・ この提案は非常に素晴らしいと思う。ただ、安全性の問題、誰が責任を取るのか、誰がコーディネートするのか、クリアすべき問題が沢山ある。それをクリアしていけば実現可能な提案だと思う。「地域における子育て応援体制づくり」については、応援体制がなければ、サロンも公園での・房委員の提案もできないということであるのならば、区民会議でこのテーマを議論することも意義あることであると思う。今回の運営部会では、具体的な案まで時間の関係で出すことができなかったのも、それについて応援体制が必要なものを委員全員に聞いて出してもらうのも一つの進め方だと思う。それでは、1月の区民会議ではテーマは「地域における子育て応援体制づくり」ということで報告し、・房委員の公園での提案などがあったことや本日出された意見を報告していくこととしたいと思う。(鈴木部会長)

⇒部会として了承

イ. 日程について

○事務局から、資料4により第4回区民会議の日程について説明

⇒3月17日(木)、18日(金)を候補日とすることで決定した。

(3) 7区区民会議交流会の開催について

ア. 出席者について

イ. 当日のテーマについて

○事務局から、資料7により7区区民会議交流会について説明した。

⇒出席者3名については、正副委員長の3名に出席することで決定した。

⇒1月19日のテーマ等を論議する代表者会議には、鈴木委員長が出席することで決定した。

—午前11時55分 終了—

以上要約のみ